

静岡県月例経済報告

(令和5年2月号)

.....令和4年12月を中心とした県内経済のすがた.....

5 6 2

- 静岡県経済産業部 -

目 次

静岡県経済の概況	1
静岡県主要経済指標の概況	9
・ 需要面	9
・ 生産面	17
・ 雇用面	19
・ その他	22
静岡県主要産業の動向	26
データからみた県内主要産業	29

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた $-$ はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/index.html>

静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和4年12月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和4年12月を中心とした静岡県の景気は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の影響があるものの、基調としては持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待される一方、国内外での新型コロナウイルス感染症の動向に十分注意する必要があるほか、引き続き物価高騰、供給制約等が及ぼす影響に留意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きが続いている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、増加している。
- ・ 生産は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(12月)は、百貨店が3か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパーが2か月ぶりに前年実績を上回ったため、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(12月)は、家電大型専門店が4か月連続、コンビニエンスストアが2か月連続、ドラッグストアが20か月連続、ホームセンターが2か月ぶりに前年実績を上回ったため、総額でも12か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(12月)は、乗用車、軽自動車がいずれも4か月連続で前年実績を上回ったため、総数でも4か月連続で前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(12月)は、貸家が2か月連続で前年実績を上回ったものの、持家が12か月連続、分譲住宅が4か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも5か月連続で前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(12月)は、4か月連続で前年実績を下回った。

「設備投資は、持ち直している」

日銀短観(12月調査)の令和4年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（12月）は、3か月連続で前年実績を上回った。

「輸出は、増加している」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（12月）は、自動車7か月ぶり、自動車の部分品が6か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が3か月連続、エアコン、科学光学機器がいずれも7か月連続、二輪自動車類が14か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも7か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（12月）は、木材が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品が9か月連続、パルプが21か月連続、紙類及び同製品、自動車の部分品がいずれも3か月連続、原動機が23か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも23か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,000億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しの動きに足踏みがみられる」

鉱工業生産指数（12月）は、業種別にみると、電気機械が6か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品が2か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が5か月連続、輸送機械が7か月連続、化学が2か月ぶり、食料品・たばこが6か月連続で前年水準を上回ったため、総合でも6か月連続で前年水準を上回った。また、前月比は4か月ぶりに増加した。

なお、鉱工業在庫指数（12月）は、総合では10か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きが続いている」

有効求人倍率（12月）は1.29倍となり、前月を0.02ポイント下回った。全国値を0.06ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員（12月）は、19か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（11月）は、12か月連続で前年実績を上回った。

その他

「金融環境は、貸出残高、信用保証金額はいずれも前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（12月）は、前年同月比 0.4%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（12月）は、前年同月比 32.2%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を上回った」

企業倒産（12月）は、月件数は19件（前年同月比 137.5%増）、負債総額は2,015百万円（同 12.0%増）と、いずれも前年実績を上回った。

<トピックス>

令和4年台風15号に伴う制度融資 「中小企業災害対策資金」・「農林水産業災害対策資金」

令和4年度台風第15号に伴い、県内の中小企業及び農林水産業者を対象に、資金の貸付を実施します。

「中小企業災害対策資金」

項目	内容	
	直接被害	間接被害
対象被害	事業用建物、設備、備品、商品等に実被害を受けたもの	実被害以外の影響で1か月間の売上が前年同月比で10%以上減少した又は減少する見込みのもの
資金使途	災害復興に必要な設備資金、運転資金	運転資金
保証料率 (保証料補助後)	(県内全域)普通保証：0.15%～0.60% (23市町)SN4号：0.00% ※	(県内全域)普通保証：0.30%～1.30% (23市町)SN4号：0.60% ※
融資利率及び 利用する保証	年1.6%：普通保証（県内全域） 年1.5%：SN4号（23市町）※	※近日中に告示
融資限度額	5,000万円	
融資期間	10年以内（据置期間1年以内）	
取扱期間	令和4年9月27日から令和5年4月3日まで	
お問い合わせ先	商工金融課（054-221-2525）	

「農林水産業災害対策資金」

項目	内容
対象被害	令和4年台風第15号に伴う大雨等による災害（対象地区：全県）
対象者	1 被災後1月間に農林水産業による総収入額（以下「農業等収入額」という）が、被災前5年間の各年の被災後1月間に相当する期間における農業等収入額について、最大及び最小の年を除いた各年の農業等収入額の合計額を3で除して得た額と比較して10パーセント以上減少した者 2 農林水産業に係る被害額が20万円以上の者
資金使途	・経営安定のための運転資金 ・生活維持に必要な資金
融資利率	0.60%（令和4年9月20日現在） * 県の利子補給承認時と融資機関の貸付実行時を比較して低い方の利率を適用
償還期限	5年以内（うち据置期間1年以内）
融資限度額	・運転資金：個人1,000万円、法人2,000万円 ・生活維持資金：個人300万円
取扱金融機関	静岡県信用農業協同組合連合会、県内の農業協同組合、東日本信用漁業協同組合連合会静岡支店
償還方法	元本均等年賦償還
取扱期間	令和4年9月27日から令和5年3月31日まで
お問い合わせ先	農業：農業ビジネス課(054-221-2629) 水産業：水産振興課(054-221-2694) 林業：林業振興課(054-221-2667)

その他支援策はこちら：<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-sien/taihu15.html>

県制度融資

「新型コロナウイルス感染症対応伴走支援特別貸付」

早期の経営改善等を行うため、**金融機関の継続的な伴走支援を受けながら、経営行動計画に取り組む融資を実施**します。

項目	内容
資金使途	設備資金・運転資金・借換資金
融資要件	次のいずれかに該当する中小企業者 ①セーフティネット4号または5号の認定を取得 ②直近1か月間の売上高、売上高総利益率または売上高営業利益率が前年同月比5%以上減少している ③直近1か月間の売上高総利益率または売上高営業利益率が直近決算比5%以上減少している ④直近決算の売上高総利益率または売上高営業利益率が直近決算前期比5%以上減少している
融資限度額	1億円
融資期間	10年以内（据置期間：5年以内）
融資利率	1.50%（セーフティネット4号） 1.60%（普通、セーフティネット5号）※ ※借換資金の場合、融資利率が1.50%になる場合があります。
保証料率	（普通）0.20%～1.15% （セーフティネット4号・5号）0.20%
その他条件	・セーフティネット4号・5号の場合、市町の認定が必要 ・経営行動計画を作成し、金融機関が伴走支援
取扱期間	令和3年4月1日～令和5年3月31日 （令和5年1月10日から融資要件緩和）

お問合せ先等

県内金融機関
商工金融課（054-221-2525）

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-540/seido/bansoushien.html>

<トピックス>



2023年3月（予定）、静岡市内にイノベーション拠点が誕生。
拠点開設を記念し、様々な分野の先駆者とICTを活用したビジネスの
創造や変革について考えます。

3 / 14:00~
16:00(予定)
8 水

受付 13:30~

会場 グランヒルズ静岡 5階センチュリールーム
(静岡市駿河区南町 18-1)

定員

- 会場 150人(先着)
- オンライン 500人(先着)

主な内容

- 主催者挨拶(静岡県)
- SHIP事業説明
- 講演: 松尾豊氏、森戸裕一氏

申込 オンライン/会場の参加方法に
関わらず、下記申し込みフォーム
からご応募ください

- 3月5日(日) 24時締切



注意 開催会場でのコロナ感染防止策にご協力ください

- マスクを着用の上ご参加ください。
- 会場での手指消毒にご協力ください。
- 体温が37.5度以上ある方や、風邪の症状等がある方はご参加をお控えください。

静岡県 令和4年度委託事業

【事務局】 株式会社エル・ティー・エス

otr_sp@lt-s.jp
070-3196-1078

<トピックス>



フーズ・ヘルスケア オープンイノベーション (FHCaOI) フォーラム

当センターでは、県民の健康寿命延伸と経済の持続的発展を目指し、フーズ・ヘルスケア関連産業の振興を広く支援しています。その一環として、事業者の皆様へ今後の製品・サービス開発のヒントとしていただくために、本フォーラムでは、食によるヘルスケア産業創出に関する講演と県内大学・企業等が有するシーズ発表を行います。あわせて、助成事業成果を展示するとともに参加者交流の場を設けます。

令和5年 **3月14日** 火 13時30分～16時30分
(受付 13:00から)

会場	グランディエール ブケトーカイ (静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー4階)
定員	会場 80名 、オンライン 100名 (先着順) 定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込みください。
対象者	食品、ヘルスケア産業などの事業者、研究機関などの関係者

**参加費
無料**

専用申込フォームよりお申し込みください。
<https://tayori.com/f/fhcaoi-forum230314/>



申込締切日 令和5年 **3月8日** 水

申し込み、問い合わせ

公益財団法人 静岡県産業振興財団
フーズ・ヘルスケア オープンイノベーションセンター

☎ 054-254-4513 ✉ newfoods@ric-shizuoka.or.jp 〒420-0853 静岡市葵区追手町44-1



主催：(公財)静岡県産業振興財団
フーズ・ヘルスケア オープンイノベーションセンター

<トピックス>

13:30 開会あいさつ(令和4年度フーズセンター活動報告)

静岡県産業振興財団 フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンター長 望月誠

基調講演 「食によるヘルスケア産業創出と研究成果の社会実装」

農業・食品産業技術総合研究機構
食品研究部門エグゼクティブリサーチャー 山本(前田)万里氏

シーズ発表1 「SDGsに寄与する食材粉末化技術とその活用」

株式会社ゴールドクラブ 取締役部長 古賀忠氏

シーズ発表2 「静岡県産食材の機能性成分分析の結果とその活用について」

静岡県産業振興財団 フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンター
サイエンスアドバイザー 南条文雄

シーズ発表3 「微生物を用いた飲料抽出残渣からのファインケミカルの発酵生産技術の開発」

静岡県立大学 食品栄養科学部環境生命科学科/大学院食品栄養環境科学研究院
環境工学研究室 准教授 原清敬氏

16:00 閉会 展示ブース(助成事業等の成果展示)・名刺交換

16:30 終了

※オンライン参加の方は、16時で終了となります。会場参加の方は、16時以降引き続き展示ブースの見学、名刺交換に参加いただけます。
※内容は新型コロナウイルス感染症等の状況により、一部変更になる場合がございます。

講師紹介

山本(前田)万里氏

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 エグゼクティブリサーチャー



1986年千葉大学園芸学研究科修士課程修了。同年農林水産省入省。農業研究センター、中国農業試験場、野菜茶業研究所(茶機能解析研究室長)、食品総合研究所(食品機能研究領域長)、食農ビジネス推進センター長、本部企画戦略本部研究管理役、ヘルスケア創出研究統括監を経て、2021年11月から現職。2015年から筑波大学協働大学院グローバル教育院教授。2022年4月から一般社団法人セルフケアフード協議会代表理事。1992年農学博士(九大)。日本茶インストラクター。

抗アレルギー緑茶、機能性農産物、機能性弁当等開発研究等に従事。2016年6月からは知の集積と活用の場「セルフ・フードプランニングプラットフォーム」の代表、2018年11月からは内閣府戦略的創造イノベーションプログラム(SIP2)の「食を通じた健康システムの確立による健康寿命の延伸への貢献」の研究代表者として、食による健康長寿社会の実現を目指した研究活動を展開している。日本食品免疫学会評議員。

受賞：2002年日本食品科学工学会奨励賞、2013年内閣府産学功労者農林水産大臣賞、2016年日本農芸化学会技術賞、2016年日本食品免疫学会産業賞、2018年日本農学賞(読売農学賞)等。

会場までのアクセス

JR静岡駅北口より地下直結 [市役所方面 → 紺屋町・呉服町方面]



申し込み、問い合わせ

公益財団法人 静岡県産業振興財団
フーズ・ヘルスケア
オープンイノベーションセンター

☎ 054-254-4513

✉ newfoods@ric-shizuoka.or.jp

〒420-0853 静岡市葵区追手町44-1

注意事項

・雨天等による中止は当日朝までに当センターホームページでお知らせします。
・ご来場の皆様におかれましては、「手洗い」や「マスクの着用」「うがいの励行などの感染予防対策へのご協力をお願いいたします。

<トピックス>業種別の経済・雇用情勢

県制度融資の申込状況

(令和5年2月20日時点)

区分		申込状況		
		金額	件数	業種別の状況
R2 ～ 3	新型コロナウイルス感染症対応枠(旧) [R2.2.12～4.17終了]	億円 2,334	件 8,158	卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、宿泊・旅行業3.5%、運輸業2.9%等
	国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付 [R2.5.1～R3.3.31]	億円 8,064	件 53,666	建設業26.0%、卸小売業19.8%、製造業19.5%、飲食業7.9%、運輸業2.9%、宿泊・旅行業1.3%等
	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) [R2.4.28～R4.3.31]	億円 697	件 4,186	建設業29.7%、卸小売業18.1%、製造業15.5%、飲食業8.7%、運輸業3.7%、宿泊・旅行業2.1%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付 [R3.4.1～R4.3.31]	億円 278	件 1,776	建設業24.5%、卸小売業21.1%、製造業20.2%、飲食業9.5%、運輸業3.9%、宿泊・旅行業3.2%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠) [R3.4.1～R4.3.31]	億円 14	件 53	製造業60.4%、卸小売業17.0%、建設業11.3%、運輸業11.3%
R4	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) [R4.4.1～]	億円 151	件 1,409	建設業38.2%、卸小売業19.5%、製造業13.6%、飲食業5.8%、運輸業3.1%、宿泊・旅行業0.5%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付 [R4.4.1～]	億円 251	件 1,585	建設業28.0%、卸小売業20.8%、製造業20.4%、飲食業10.3%、運輸業3.3%、宿泊・旅行業2.0%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠) [R4.4.1～]	億円 12	件 55	製造業34.5%、卸小売業30.9%、建設業9.1%、飲食業7.3%、運輸業5.5%、宿泊・旅行業1.8%等
計		億円 11,801	件 70,888	リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9～H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4～H24.3：1年間)

県内の新規求人数(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート)前年同月比の推移

(%)

区分	R4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
農・林・ 漁・鉱業	6.6	43.0	24.8	16.7	66.1	26.4	6.8	46.3	5.6	21.5	11.1	34.0
建設業	8.6	2.3	9.4	4.7	4.8	12.7	2.4	2.0	3.9	0.3	2.9	3.1
製造業	32.6	39.0	33.0	16.6	19.7	22.8	8.1	10.7	10.6	3.1	2.0	3.4
卸売・小売業	12.6	18.1	20.8	19.2	21.3	50.1	16.7	28.2	46.6	9.9	12.9	29.7
金融、保険 不動産業	21.4	13.3	21.3	5.9	8.5	34.5	15.1	4.0	31.5	17.0	7.7	14.5
運輸業	36.0	14.1	3.7	28.2	13.3	3.7	19.3	0.5	13.2	0.8	6.8	12.9
情報通信業	7.6	6.8	2.7	38.2	14.6	1.5	4.3	2.2	5.4	9.0	11.0	1.1
飲食、宿泊 サービス業他	28.3	28.2	10.3	23.1	18.9	22.7	8.3	29.4	16.9	11.5	19.1	8.3
県全体	15.6	20.1	10.8	15.3	16.2	14.7	9.2	13.9	14.3	5.6	5.5	3.2

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡労働局))

県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

区分	R4年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年 1月
農・林・ 漁・鉱業	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0
建設業	1	6	2	2	3	0	1	3	6	3	1	1
製造業	1	3	3	7	4	1	2	3	4	4	6	4
卸売・小売業	1	4	5	3	4	1	1	3	6	1	4	4
金融、保険 不動産業	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	2	3
運輸業	1	1	0	2	0	0	1	0	1	1	1	3
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
飲食、宿泊 サービス業他	2	2	8	4	3	3	3	4	4	3	4	3
県全体	7	16	19	18	15	5	9	16	22	14	18	19
うちコロナ 関連倒産	3	5	6	4	2	2	6	8	5	2	5	8

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)

静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

12月 = 46,593百万円

* 前年同月比： 2.6%増

(県内3百貨店、153ｽｰﾊﾟｰ-合計)

<概況>

12月の大型小売店販売額は46,593百万円で、前年同月比 2.6%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 2.2%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパー（同 3.7%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

商品別では、身の回り品（同 2.1%減）が2か月連続、家庭用品（同 7.9%減）が20か月連続で前年実績を下回ったものの、衣料品（同 3.6%増）が2か月ぶり、飲食料品（同 3.6%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は3.0%増と、6か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額(百万円)	36,374	35,424	37,045	36,445	34,582	36,840	36,374	46,593
前年同月比(%)	0.3	1.5	0.2	1.6	0.7	0.7	0.7	2.6
うち百貨店(%)	13.5	1.8	2.7	18.0	12.4	0.6	3.6	2.2
ｽｰﾊﾟｰ(%)	1.7	2.1	0.2	0.4	1.0	0.9	0.1	3.7
(参考1)全国前年同月比(%)	8.5	1.3	2.8	3.8	4.1	4.1	2.4	3.6
うち百貨店(%)	56.0	11.6	9.4	25.4	19.9	10.9	4.3	4.0
ｽｰﾊﾟｰ(%)	2.0	2.1	0.5	1.4	0.5	1.7	1.6	3.5
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	1.0	1.0	0.5	2.1	2.9	2.8	0.8	3.0

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
衣 料 品	4.6	2.7	1.4	14.9	10.2	3.3	6.8	3.6
うち紳士服・洋品	8.0	2.7	1.2	12.8	10.8	8.0	5.2	12.4
婦人・子供服・洋品	3.9	3.6	1.4	17.6	11.1	1.8	6.9	0.6
身の回り品	6.5	3.0	0.5	14.9	14.8	6.5	0.2	2.1
飲 食 料 品	0.8	2.1	0.2	0.4	1.2	0.6	1.1	3.6
家 庭 用 品	7.3	6.6	7.4	2.9	3.5	3.2	3.9	7.9
うち家庭用電気機械器具	10.2	0.5	10.2	5.1	5.7	3.0	11.1	8.7

(注)店舗数調整済、全月速報値

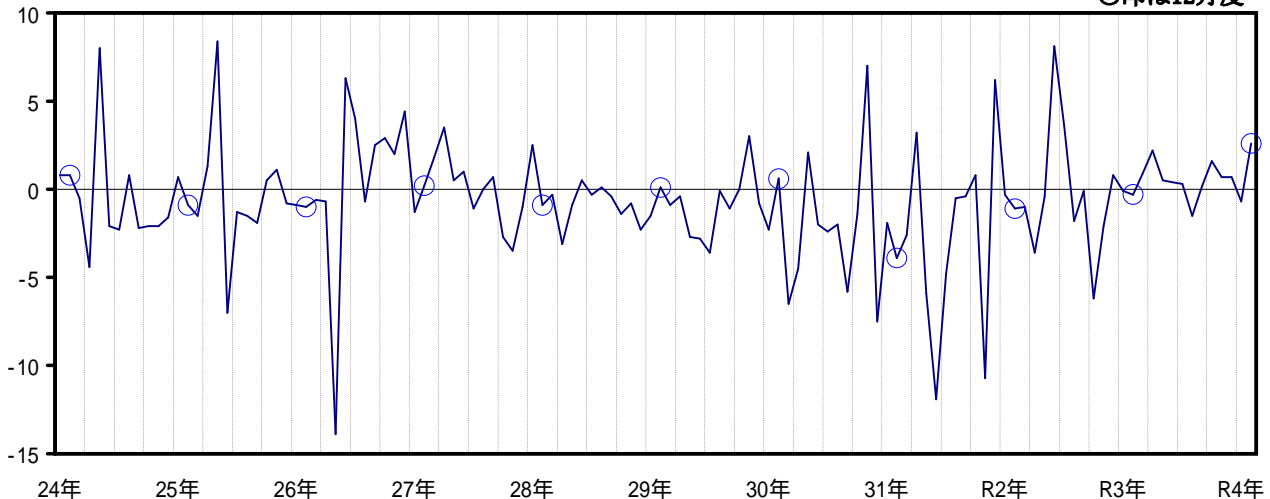
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は12月度



(2) 専門量販店等販売額

12月 = 86,005百万円

*前年同月比：6.2%増

(県内92家電大型専門店、1,670コンビニエンスストア、581ドラッグストア、108ホームセンター合計)

<概況>

12月の専門量販店等販売額は86,005百万円で、前年同月比6.2%増となり、12か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店(前年同月比7.6%増)が4か月連続、コンビニエンスストア(同2.1%増)が2か月連続、ドラッグストア(同10.9%増)が20か月連続、ホームセンター(同4.0%増)が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額(百万円)	74,404	73,672	79,845	79,103	73,959	75,190	72,662	86,005
前年同月比(%)	1.2	3.4	3.3	4.6	4.2	3.3	3.8	6.2
うち家電大型専門店(%)	9.5	3.1	2.4	3.5	6.4	6.6	1.2	7.6
コンビニエンスストア(%)	3.5	4.0	3.5	6.9	3.0	0.7	0.9	2.1
ドラッグストア(%)	3.7	3.8	7.1	6.5	6.9	7.7	10.2	10.9
ホームセンター(%)	1.7	1.0	2.1	0.9	2.3	1.2	3.2	4.0
(参考)全国前年同月比(%)	0.9	3.2	2.4	3.4	3.2	4.8	5.5	5.4

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

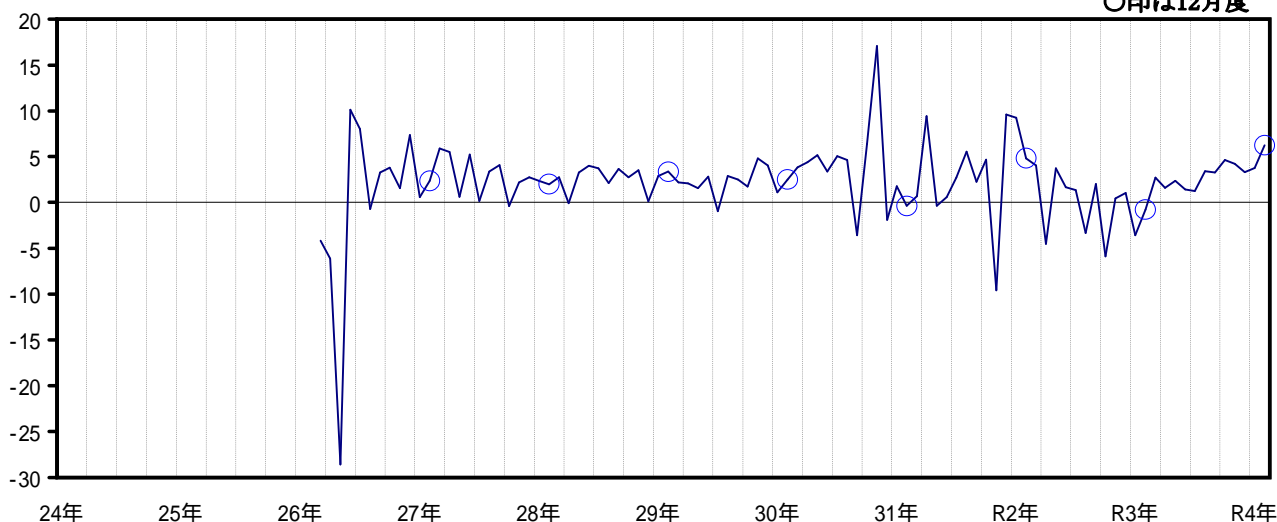
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省
○印は12月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数

12月 = 13,441 台

* 前年同月比： 10.4%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

12月の自動車(新車)新規登録台数は13,441台(前年同月比 10.4%増)と、4か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 3.4%増)、軽自動車(同 18.7%増)がいずれも4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
登録台数(台)	9,191	11,368	11,924	9,874	13,178	12,984	14,026	13,441
前年同月比(%)	14.7	8.0	11.2	10.3	28.0	40.5	16.1	10.4
(参考)全国前年同月比(%)	19.0	9.6	6.9	11.2	26.4	28.3	5.6	1.5

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

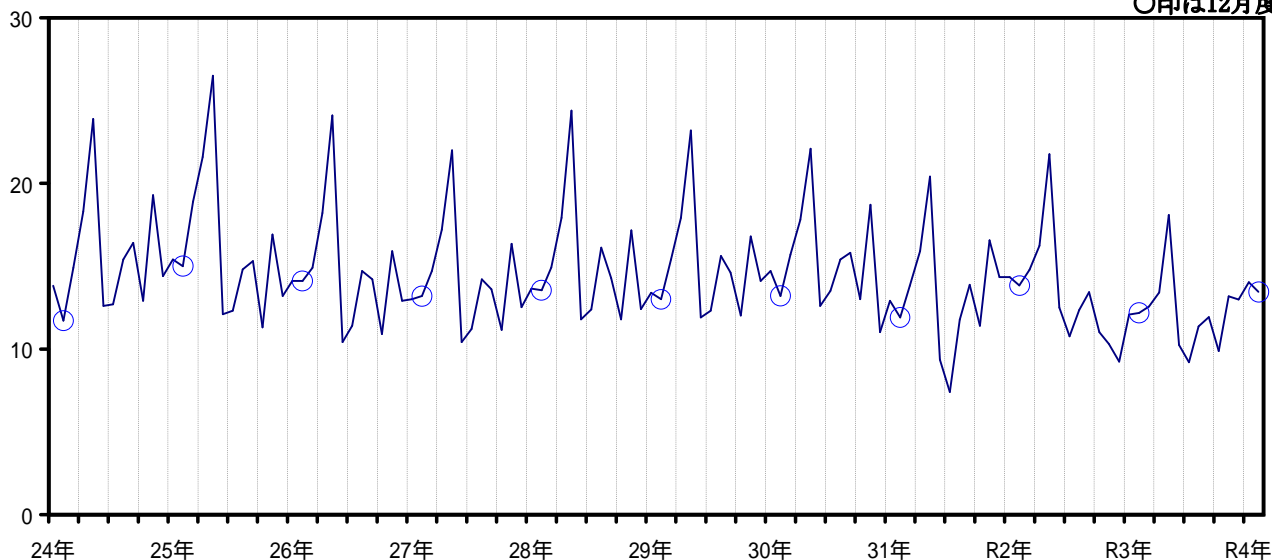
	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全乗用車	14.7	8.0	11.2	10.3	28.0	40.5	16.1	10.4
乗用車	16.8	10.6	15.7	12.8	28.2	30.5	4.9	3.4
軽自動車	12.6	5.2	6.0	7.4	27.8	52.3	29.5	18.7

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
○印は12月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

12月 = 1,678 戸

* 前年同月比： 2.0%減

<概況>

12月の新設住宅着工戸数は1,678戸で、前年同月比 2.0%減と、5 か月連続で前年実績を下回った。
 利用関係別にみると、貸家（前年同月比 30.8%増）が2 か月連続で前年実績を上回ったものの、持家（同 15.4%減）が12か月連続、分譲住宅（同 9.5%減）が4 か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

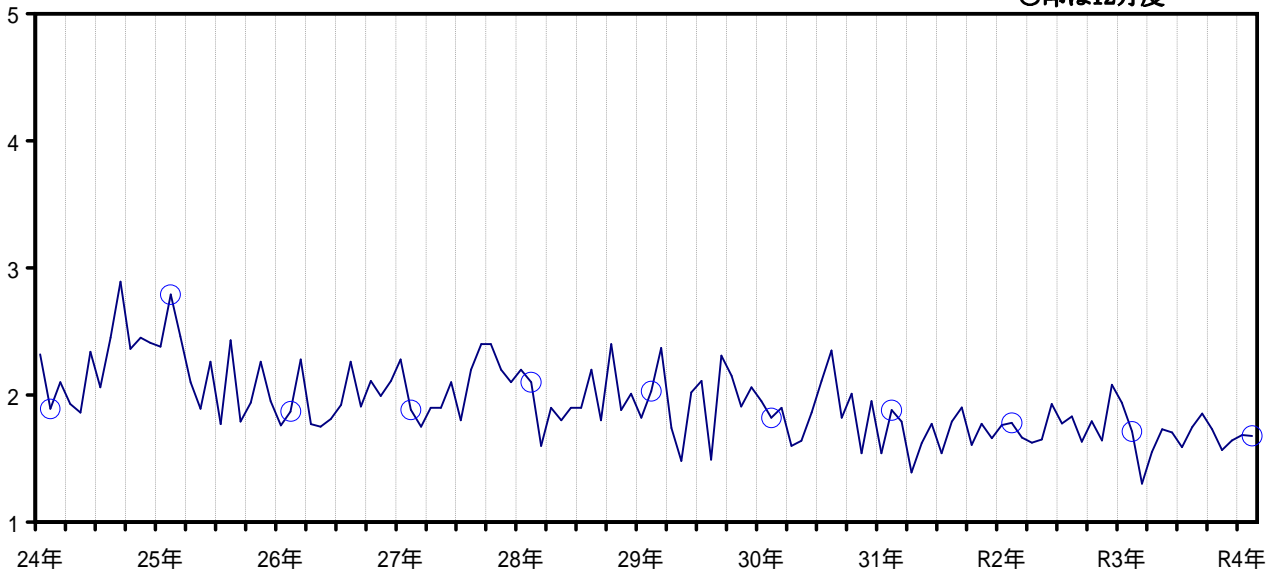
	R 4年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
戸数 (戸)	1,587	1,748	1,852	1,730	1,566	1,641	1,685	1,678
前年同月比 (%)	10.6	4.5	13.5	3.5	4.6	21.1	13.1	2.0
うち持家 (%)	4.0	12.7	6.2	2.1	17.2	22.8	21.5	15.4
貸家 (%)	24.8	3.5	92.0	10.0	25.1	22.9	14.4	30.8
分譲住宅 (%)	0.0	5.7	12.8	3.0	2.5	17.8	9.4	9.5
(参考)全国前年同月比 (%)	4.3	2.2	5.4	4.6	1.0	1.8	1.4	1.7

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課
○印は12月度



3 公共工事請負金額

12月 = 12,675百万円

* 前年同月比： 32.3%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

12月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は12,675百万円で、前年同月比 32.3%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は421件で、前年同月比 4.5%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
金額(百万円)	30,010	33,505	30,400	36,867	36,131	24,862	12,862	12,675
前年同月比(%)	27.9	18.6	15.4	21.2	20.9	16.2	18.6	32.3
年度累計前年同月比(%)	15.2	16.2	16.0	10.5	12.4	12.8	13.1	14.2
件数(件)	522	769	730	807	1,044	703	518	421
前年同月比(%)	12.4	0.8	13.4	4.0	3.0	3.8	21.6	4.5
年度累計前年同月比(%)	18.9	12.1	12.4	9.0	7.6	7.1	8.7	8.4

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位:%)

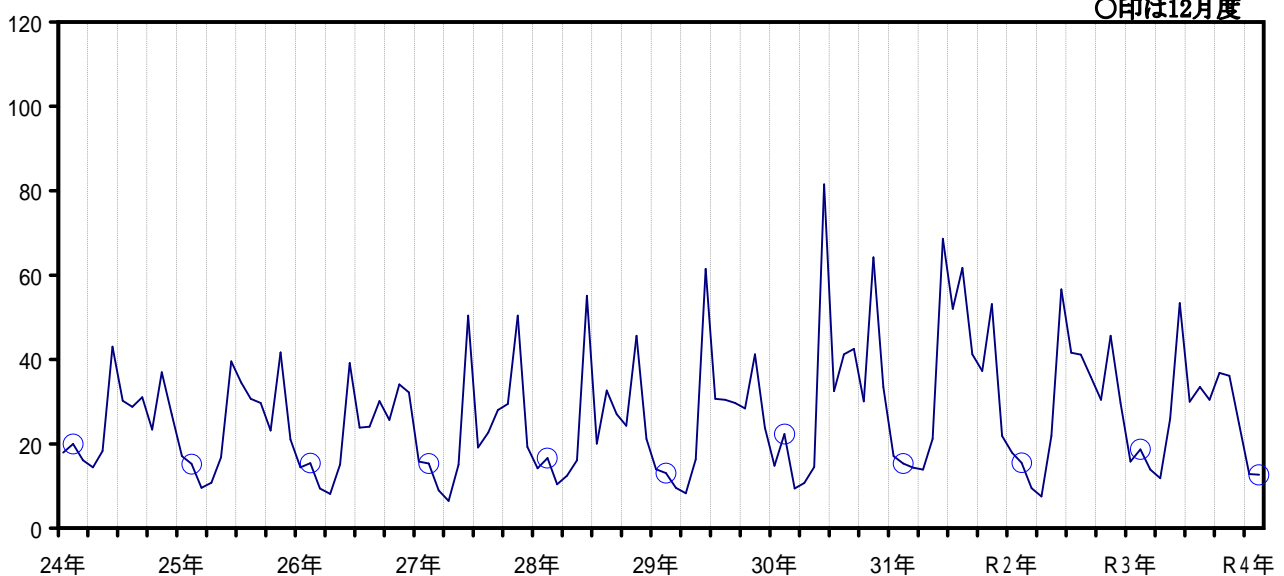
	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国	38.7	63.9	51.4	21.4	34.4	115.5	42.9	28.4
独立行政法人等	53.2	37.3	8.6	312.4	94.9	63.4	41.6	59.8
県	13.1	4.7	23.3	12.2	1.4	6.9	7.3	18.6
市町	2.3	1.5	6.6	0.3	10.1	9.5	7.2	26.2
地方公社	-	19.0	206.6	118.2	46.3	6.8	-	75.0
その他	53.7	68.4	28.5	231.5	109.3	-	93.4	39.0

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

令和3年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で減少した。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で増加した。

令和4年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業(前年度比 43.8%増)、非製造業(同 2.6%増)、全産業(同 23.7%増)においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 25.7%増）、非製造業（同 4.3%増）、全産業（同 20.2%増）においていずれも増加する計画となっている。

12月の着工建築物床面積（非居住用）は166,101㎡で、前年同月比 32.2%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比%） 設備投資（含む土地投資）

		R3年度 (実績)	R4年度 (計画)
全産業	県	1.4	(1.1) 23.7
	全国	0.8	(1.1) 15.1
製造業	県	8.8	(1.0) 43.8
	全国	1.1	(0.7) 20.3
非製造業	県	10.1	(1.3) 2.6
	全国	1.9	(1.4) 12.1

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R3年度 (実績)	R4年度 (計画)
全産業	県	1.9	(0.8) 20.2
	全国	1.2	(0.5) 14.3
製造業	県	6.0	(0.4) 25.7
	全国	2.9	(0.2) 15.6
非製造業	県	8.0	(2.2) 4.3
	全国	0.7	(1.3) 12.9

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和4年12月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和4年12月調査)」

<最近の動き>

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	130,880	106,649	245,468	85,171	78,834	172,555	144,806	166,101
前年同月比（%）	97.4	7.2	126.6	37.3	28.8	33.2	34.9	32.2
（参考）全国前年同月比（%）	8.4	12.0	22.0	27.0	3.1	32.4	6.0	28.6

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D.I.>

	R4年9月	R4年12月	R5年3月 (予測)
全産業	5	2	2
製造業	11	10	0
非製造業	1	5	5
（参考）全国・全産業	3	6	1

（注4）業況判断D.I.:「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和4年12月調査)」

5 輸出

12月 = 248,199百万円

* 前年同月比： 25.2%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

12月の清水税関支署管内の輸出総額は248,199百万円で、前年同月比 25.2%増となり、7か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、自動車（前年同月比 13.3%減）が7か月ぶり、自動車の部分品（同 11.5%減）が6か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 77.0%増）が3か月連続、エアコン（同 70.2%増）、科学光学機器（同 18.1%増）がいずれも7か月連続、二輪自動車類（同 92.1%増）が14か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（同 2.6%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、米国向け（同 42.7%増）が7か月連続、EU向け（同 64.6%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸出総額(百万円)	182,437	224,345	229,506	209,187	215,345	248,526	244,721	248,199
前年同月比(%)	8.2	3.2	6.5	8.9	1.3	28.7	27.1	25.2

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
原動機	9.2	40.5	45.5	69.1	4.7	93.4	52.9	77.0
エアコン	0.2	18.6	73.3	85.1	62.0	25.7	70.3	70.2
自動車	24.3	70.7	6.3	7.7	43.3	10.3	22.7	13.3
自動車の部分品	1.2	4.5	19.2	4.5	32.9	0.9	18.5	11.5
二輪自動車類	8.6	16.8	64.7	35.0	67.9	113.6	121.3	92.1
科学光学機器	7.4	22.9	0.1	40.6	33.5	29.2	24.4	18.1

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジア	7.1	6.6	5.7	0.1	5.0	22.3	5.4	2.6
米国	2.8	30.3	29.1	34.1	4.7	46.1	27.4	42.7
EU	26.2	0.2	20.0	3.3	15.1	28.6	79.7	64.6

<資料>清水税関支署

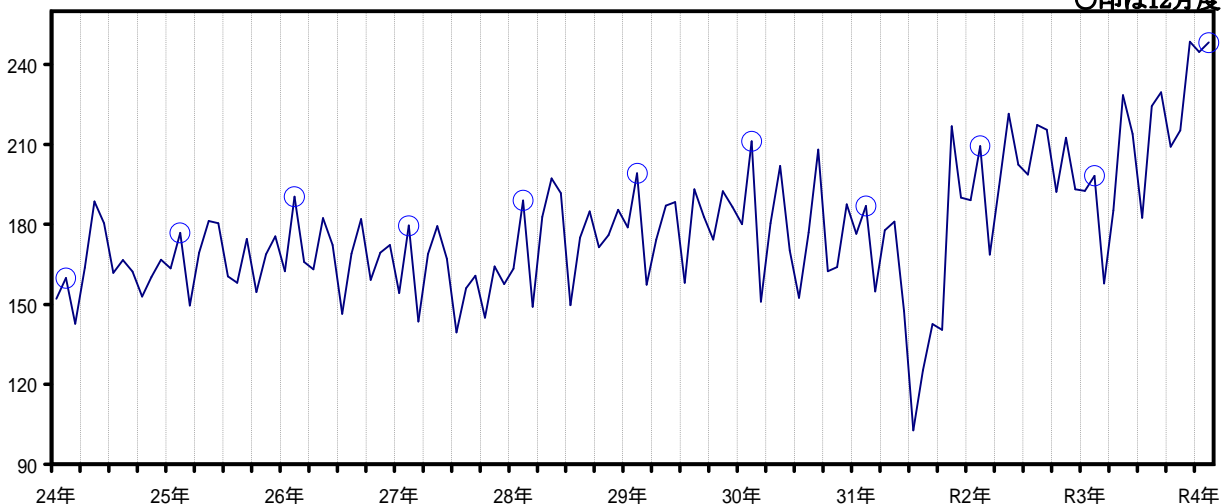
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は12月度



6 輸入

12月 = 148,203百万円

* 前年同月比： 41.3%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

12月の清水税関支署管内の輸入総額は148,203百万円で、前年同月比 41.3%増となり、23か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、木材（前年同月比 40.6%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品（同 17.1%増）が9か月連続、パルプ（同 38.2%増）が21か月連続、紙類及び同製品（同 30.0%増）、自動車の部分品（同 10.1%増）がいずれも3か月連続、原動機（同 11.0%増）が23か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、アジアから（同 24.3%増）が9か月連続、米国から（同 266.4%増）が8か月連続、EUから（同 36.1%増）が7か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸入総額(百万円)	123,731	134,545	120,720	128,069	132,848	141,905	139,949	148,203
前年同月比(%)	31.8	35.2	18.7	41.3	38.0	55.9	53.5	41.3

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
魚介類及び同調製品	15.0	96.0	24.7	27.2	41.9	63.8	64.0	17.1
木 材	77.1	59.6	29.9	43.5	26.7	15.0	35.4	40.6
パ ル プ	65.1	33.4	36.3	92.9	32.2	40.9	6.2	38.2
紙 類 及 び 同 製 品	15.2	24.2	43.2	5.0	16.3	61.6	42.3	30.0
原 動 機	49.7	74.6	21.1	63.1	12.4	54.1	10.1	11.0
自 動 車 の 部 分 品	7.6	44.2	8.5	20.1	0.9	33.5	27.7	10.1

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ア ジ ア	47.4	15.2	21.4	36.6	60.6	52.0	44.9	24.3
米 国	2.4	61.0	31.9	20.5	26.5	29.2	33.9	266.4
E U	1.8	53.3	9.0	44.1	11.7	21.0	27.3	36.1

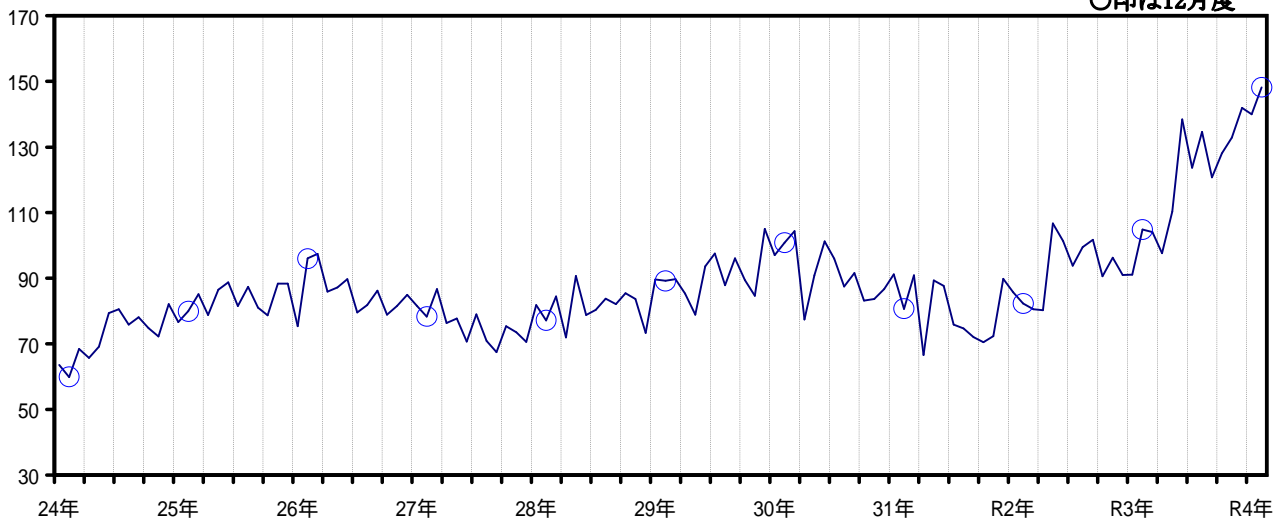
<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は12月度



生 産 面

1 生 産

(1) 鉱工業生産指数

12月 = 92.5

(平成27年 = 100、鉱工業総合、季節調整済指数)

* 前月比(季節調整済指数) : 0.4%増

* 前年同月比(原指数) : 5.2%増

<概況>

12月の鉱工業生産指数(総合)は92.5(季節調整済指数)で、前月比は0.4%増と、4か月ぶりに増加した。また、前年同月比(原指数)は5.2%増と、6か月連続で前年水準を上回った。
業種別にみると、電気機械(前年同月比 4.6%減)が6か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同 2.4%減)が2か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 27.6%増)が5か月連続、輸送機械(同 5.3%増)が7か月連続、化学(同 4.5%増)が2か月ぶり、食料品・たばこ(同 1.0%増)が6か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
指 数	82.6	93.3	92.6	96.6	96.3	93.9	92.1	92.5
前 月 比 (%)	9.7	13.0	0.8	4.3	0.3	2.5	1.9	0.4
前 年 同 月 比 (%)	8.0	1.1	2.8	11.1	17.5	8.9	4.5	5.2
(参考)全国前年同月比(%)	3.1	2.8	2.0	5.8	9.6	3.2	0.2	0.3

(注)平成27年 = 100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
はん用・生産用・業務用機械工業	11.9	2.0	5.4	18.8	2.3	11.5	19.5	27.6
電 気 機 械 工 業	30.0	15.4	14.0	11.8	22.2	3.5	0.4	4.6
輸 送 機 械 工 業	0.8	11.2	9.9	20.1	47.1	16.7	7.3	5.3
化 学 工 業	2.0	4.2	6.8	5.2	0.6	4.0	2.4	4.5
パルプ・紙・紙加工品工業	2.7	4.4	2.3	2.6	1.2	1.8	2.6	2.4
食料品・たばこ工業	12.6	4.6	1.2	3.8	8.5	5.5	3.5	1.0

(注)平成27年 = 100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

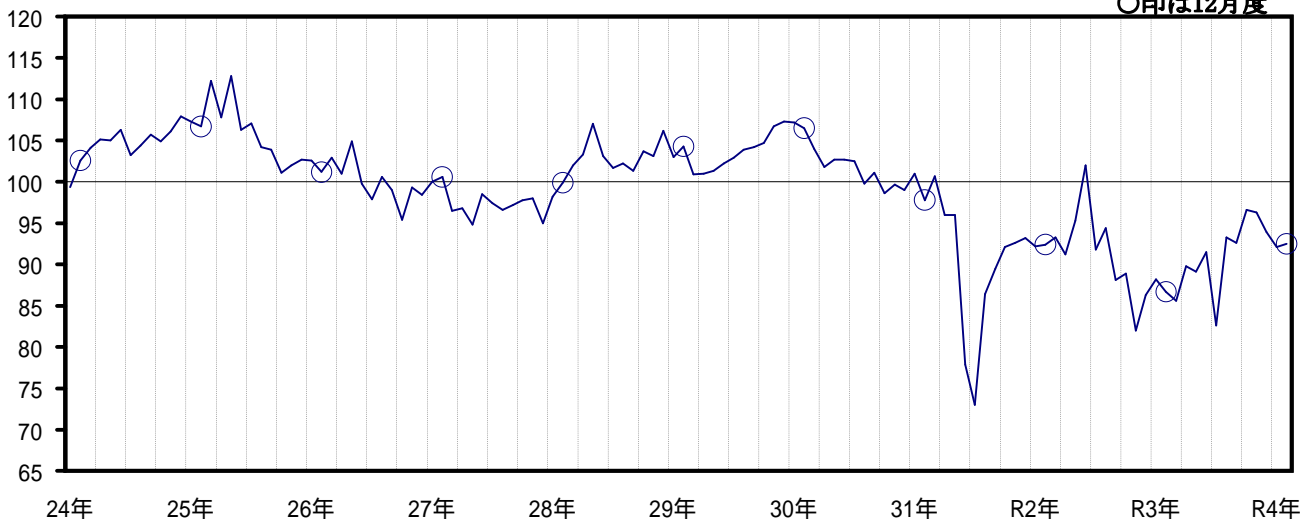
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年 = 100)

<資料>県統計調査課

○印は12月度



(2) 鋳工業在庫指数

12月 = 104.8

(平成27年 = 100、鋳工業総合、季節調整済指数)

* 前月比(季節調整済指数) : 4.4%減

* 前年同月比(原指数) : 4.0%増

<概況>

12月の鋳工業在庫指数(総合)は104.8(季節調整済指数)で、前月比は4.4%減と、2か月連続で減少した。また、前年同月比(原指数)は4.0%増と、10か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み増し局面(景気拡大期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 2.3%減)が3か月ぶり、化学(同 1.9%減)が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 4.0%減)が19か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同 29.0%増)、輸送機械(同 25.1%増)がいずれも7か月連続、食料品・たばこ(同 10.4%増)が2か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R 4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
指数	107.4	104.7	108.6	109.2	109.1	109.8	109.6	104.8
前月比(%)	0.1	2.5	3.7	0.6	0.1	0.6	0.2	4.4
前年同月比(%)	3.6	3.4	7.8	7.8	1.6	5.6	5.8	4.0
(参考)全国前年同月比(%)	3.8	4.2	5.1	5.9	6.1	0.5	0.3	0.4

(注)平成27年 = 100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
はん用・生産用・業務用機械工業	6.4	5.3	0.5	1.7	2.3	0.4	2.0	2.3
電気機械工業	1.0	1.9	6.6	16.5	23.3	26.3	29.0	29.0
輸送機械工業	3.6	4.3	38.2	53.5	55.4	36.2	31.9	25.1
化学工業	8.4	10.1	6.3	3.1	13.1	5.3	4.5	1.9
パルプ・紙・紙加工品工業	4.7	1.2	1.9	3.4	3.0	3.2	4.8	4.0
食料品・たばこ工業	10.4	1.1	31.4	2.4	1.1	0.1	17.9	10.4

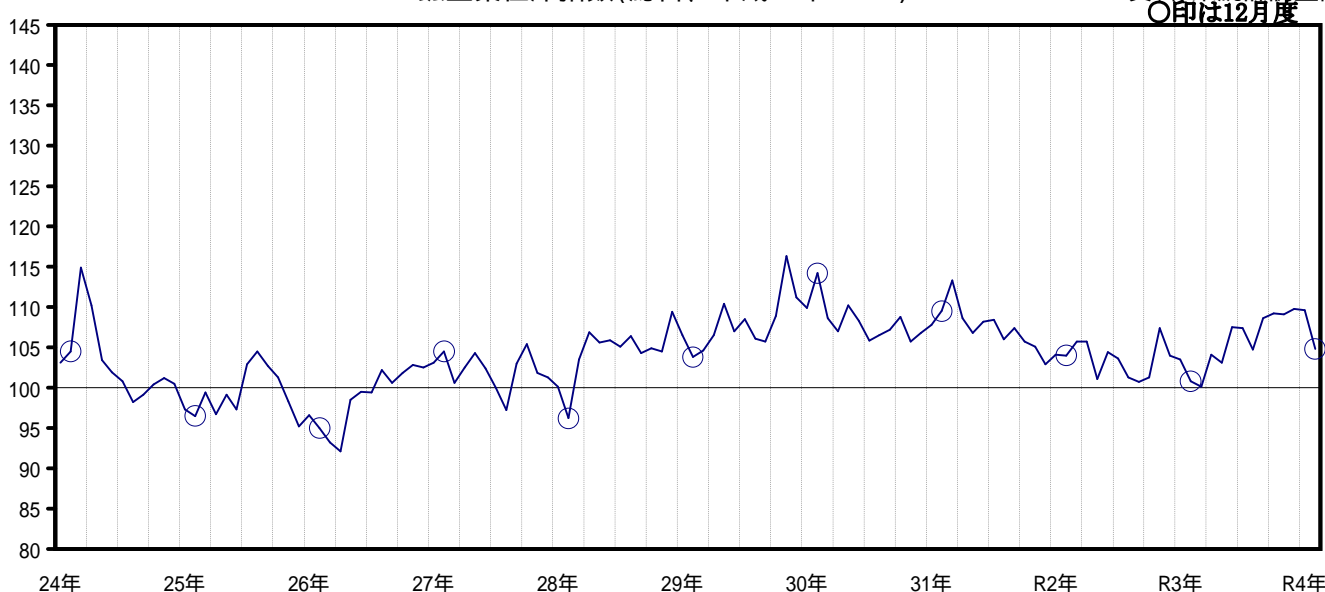
(注)平成27年 = 100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年 = 100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

12月 = 1.29倍

* 前月比（季節調整値）： 0.02ポイント減

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概況>

12月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.29倍となり、前月を0.02ポイント下回った。23か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.06ポイント下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 2.7%増）は21か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、建設業（前年同月比 1.0%減）が3か月連続、製造業（同 4.8%減）が2か月連続、運輸業・郵便業（同 16.7%減）が2か月ぶり、医療・福祉（同 3.6%減）が22か月ぶりに前年実績を下回ったものの、情報通信業（同 5.8%増）が3か月連続、卸売業・小売業（同 36.1%増）が19か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同 9.9%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
県	1.28	1.31	1.31	1.32	1.33	1.32	1.31	1.29
全 国	1.24	1.27	1.29	1.32	1.34	1.35	1.35	1.35

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建設業	7.7	11.0	3.0	0.1	4.7	2.1	1.9	1.0
製造業	13.8	21.7	7.4	9.6	8.9	4.9	0.6	4.8
情報通信業	20.6	8.7	6.5	10.5	1.3	12.9	10.9	5.8
運輸業・郵便業	8.7	7.0	7.1	1.0	4.5	1.2	20.5	16.7
卸売業・小売業	14.3	58.0	18.0	24.5	55.2	9.8	17.1	36.1
医療・福祉	14.4	1.5	3.2	5.9	8.8	6.2	0.4	3.6
サービス業（他に分類されないもの）	6.6	7.9	7.3	15.4	6.6	15.3	18.0	9.9
合 計	10.6	14.6	5.2	10.6	12.7	6.3	7.1	2.7

（注）学卒、パートタイムを除く

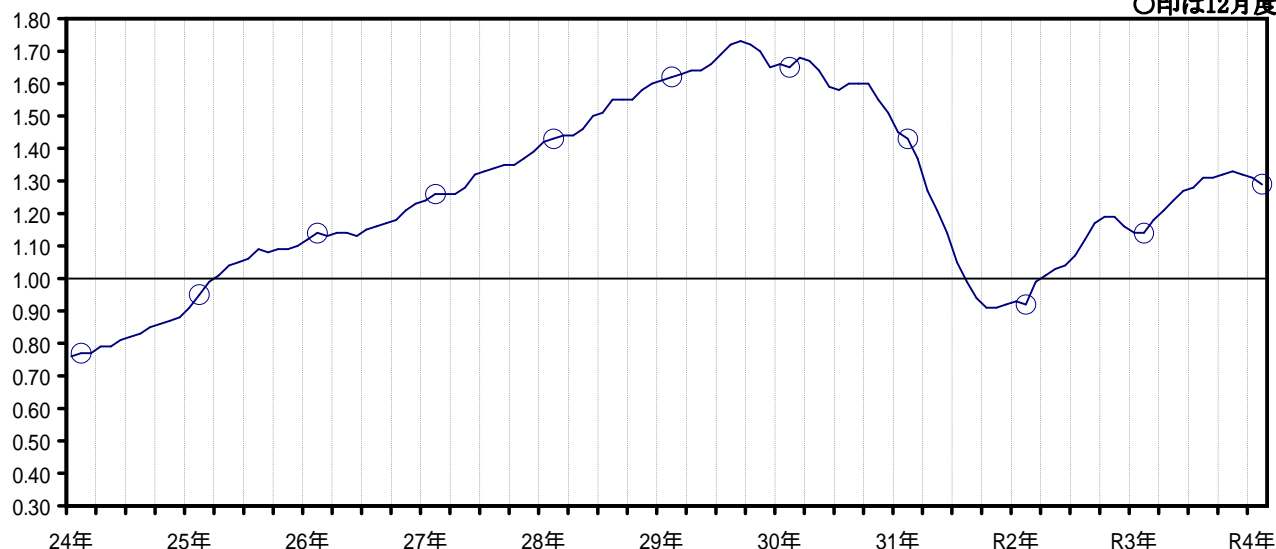
<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省

○印は12月度



(2) 雇用保険受給者実人員

12月 = 10,554人

*前月比: 2.5%減

*前年同月比: 5.7%減

<概況>

12月の雇用保険受給者実人員は10,554人で、前月比は2.5%減と、4か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は5.7%減と19か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は2.5%と前月と同水準であった。

静岡県(令和4年7~9月)の完全失業率は2.3%で、前期(令和4年4~6月)から0.2ポイント改善した。

<最近の動き>

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実人員(人)	10,377	11,498	11,952	12,557	11,986	11,260	10,827	10,554
前月比(%)	3.7	10.8	3.9	5.1	4.5	6.1	3.8	2.5
前年同月比(%)	14.1	10.7	9.3	4.2	5.9	8.2	5.7	5.7
(参考)全国前年同月比(%)	10.7	11.1	9.6	4.4	5.5	4.5	5.8	5.3

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完全失業率(全国)(%)	2.6	2.6	2.6	2.5	2.6	2.6	2.5	2.5

(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省

○印は12月度



(3) 所定外労働時間指数

11月 = 117.1

* 前月比(季節調整済指数): 2.3%減

(令和2年 = 100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) * 前年同月比(原指数) : 13.8%増

<概況>

11月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は117.1(季節調整済指数)で、2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は13.8%増と、12か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比 37.3%減)が2か月連続、運輸業・郵便業(同 15.7%減)が8か月連続で前年実績を下回ったものの、製造業(同 12.3%増)が12か月連続、情報通信業(同 24.7%増)が3か月連続、卸売業・小売業(同 1.6%増)が17か月連続、医療・福祉(同 27.6%増)が11か月連続、その他のサービス業(同 60.8%増)が8か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	115.6	120.9	119.0	117.6	115.1	120.1	119.9	117.1
前月比(%)	2.0	4.6	1.6	1.2	2.1	4.3	0.2	2.3
前年同月比(%)	5.4	13.1	9.9	4.8	6.8	21.1	16.8	13.8
(参考)全国前年同月比(%)	6.4	5.1	5.9	1.4	3.5	7.8	7.6	4.0

* 令和2年 = 100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建設業	37.8	26.5	26.4	52.4	22.9	3.1	30.6	37.3
製造業	2.0	3.8	2.3	0.6	6.0	21.6	21.7	12.3
情報通信業	19.3	2.9	0.7	13.5	11.1	4.7	2.1	24.7
運輸業・郵便業	4.5	7.1	7.5	9.9	14.1	0.5	9.6	15.7
卸売業・小売業	38.1	71.5	41.5	1.6	8.1	12.1	19.2	1.6
医療・福祉	12.5	21.1	11.2	10.2	21.7	16.5	11.8	27.6
その他のサービス業	8.5	34.9	44.7	35.8	34.6	47.1	60.5	60.8
調査産業計	5.4	13.1	9.9	4.8	6.8	21.1	16.8	13.8

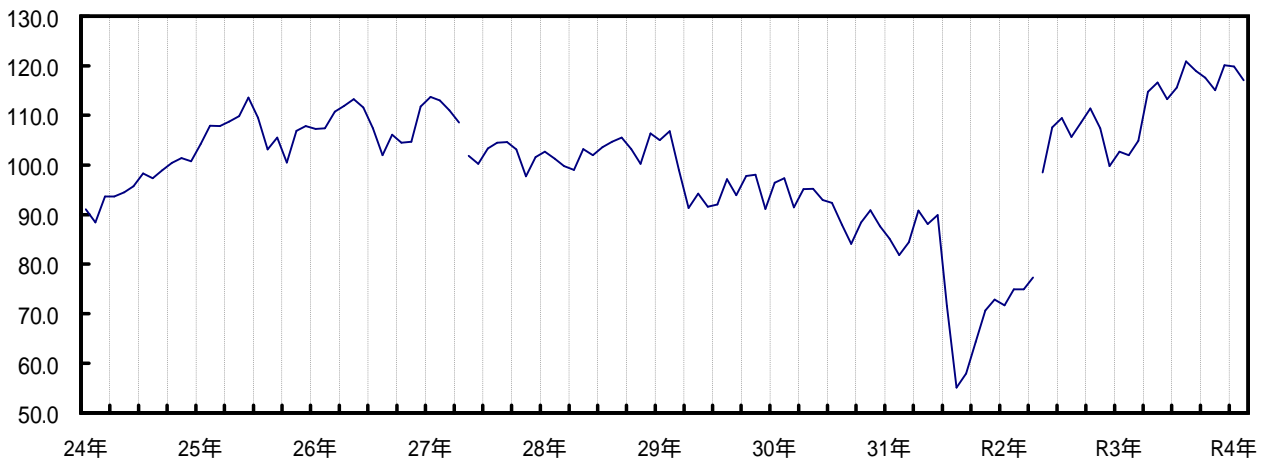
* 令和2年 = 100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

1 月 = 119.8

(令和2年=100)

*前月比: 同水準

*前年同月比: 9.5%上昇

<概況>

1月の国内企業物価指数は119.8となり、前月と同水準となった。また、前年同月比は9.5%の上昇となった。

	R 4 年 6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	R 5 年 1 月
国内企業物価指数	114.3	115.2	115.7	116.9	118.1	119.0	119.8	119.8
前月比 (%)	0.9	0.8	0.4	1.0	1.0	0.8	0.7	0.0
前年同月比 (%)	9.6	9.3	9.6	10.3	9.7	9.8	10.5	9.5

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

12 月 = 143,802億円

(銀行、信用金庫)

*前月比: 0.4%増

*前年同月比: 0.2%増

<概況>

12月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は143,802億円で、前月比は0.4%の増加となった。また、前年同月比は0.2%の増加となった。

	R 4 年 5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
貸出残高(億円)	142,065	142,433	142,647	142,664	143,216	142,823	143,165	143,802
前月比 (%)	0.1	0.3	0.2	0.0	0.4	0.3	0.2	0.4
前年同月比 (%)	1.3	0.9	0.6	0.3	0.0	0.2	0.4	0.2

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

12 月 = 1.303%

(県内地銀4行総平均)

*前月差: 0.005ポイント減

*前年同月差: 0.070ポイント減

<概況>

12月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.303%で、前月から0.005ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.070ポイントのマイナスとなった。

	R 4 年 5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
貸出約定金利 (%)	1.344	1.334	1.329	1.322	1.319	1.316	1.308	1.303
前月差(ポイント)	0.005	0.010	0.005	0.007	0.003	0.003	0.008	0.005
前年同月差(ポイント)	0.072	0.075	0.077	0.081	0.077	0.078	0.076	0.070

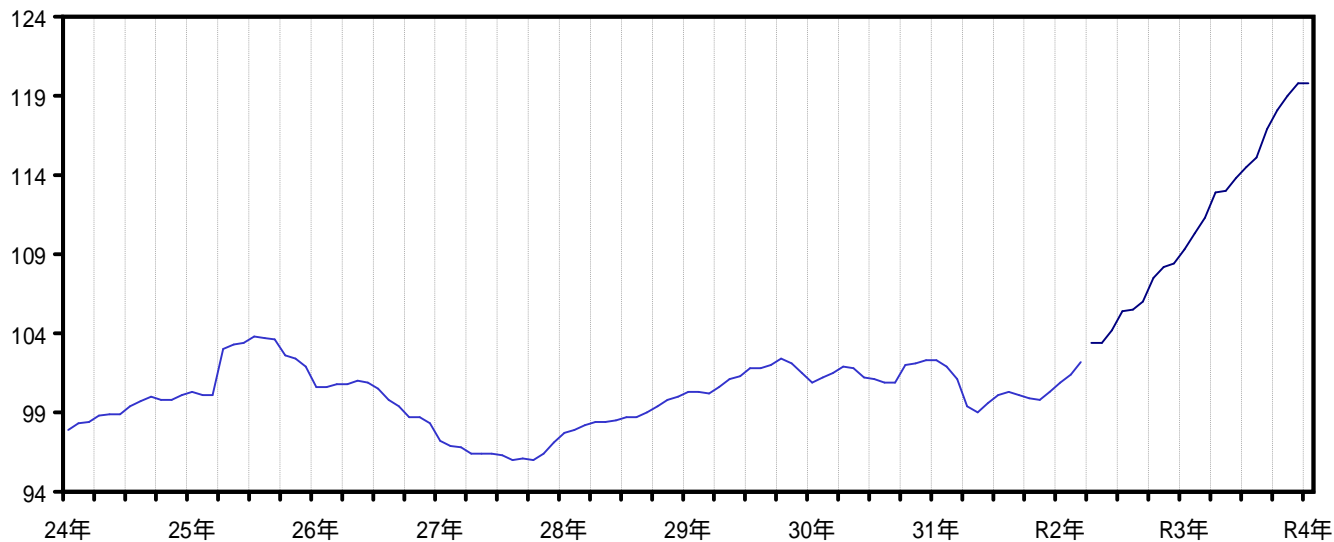
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

< 過去10年間の推移 >

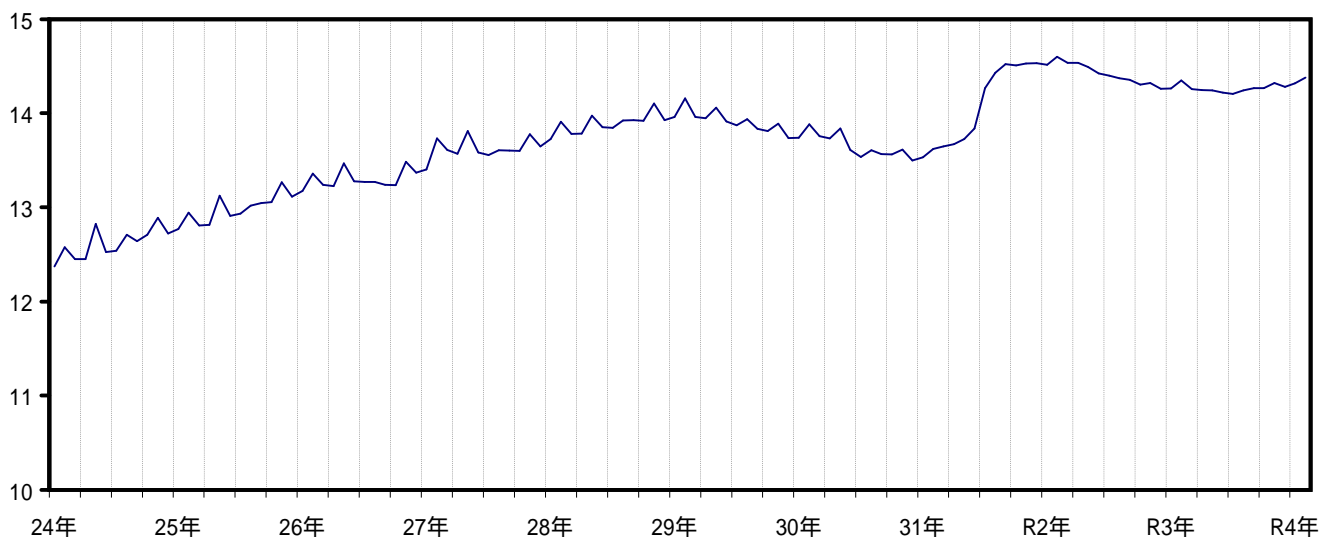
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



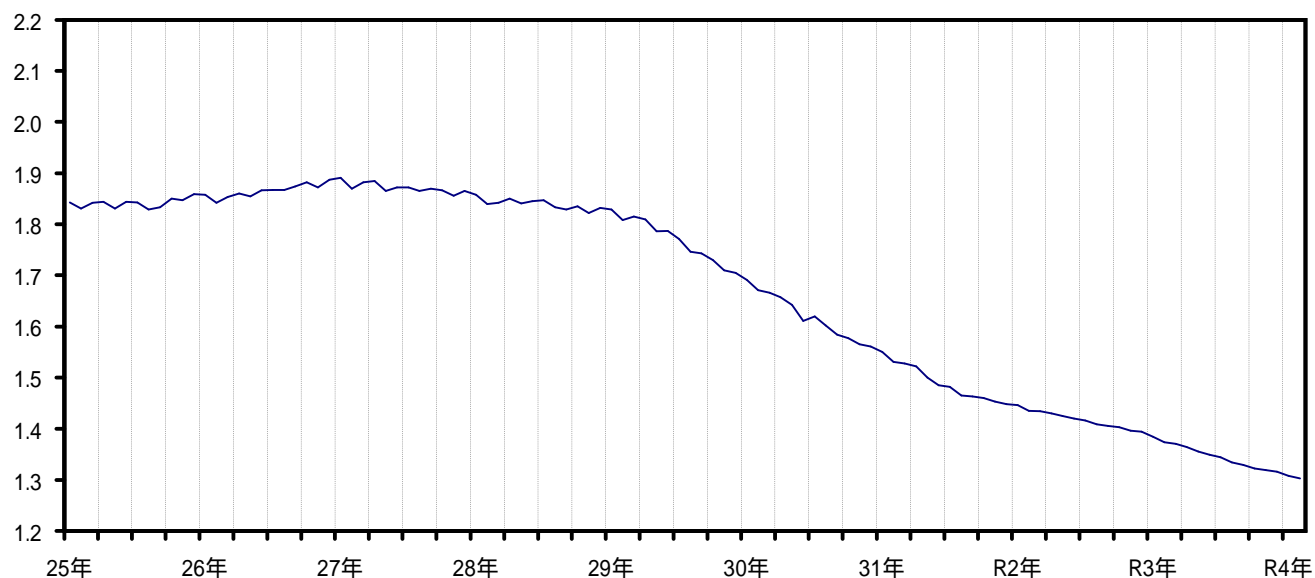
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**12月 = 32,259百万円**

*前年同月比： 32.2%増

<概況>

12月の保証承諾は、金額は32,259百万円（前年同月比 32.2%増）、件数は2,328件（同 3.9%増）と、いずれも前年実績を上回った。

	R 4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
保証金額(百万円)	34,448	33,533	23,461	25,425	26,742	17,816	23,928	32,259
前年同月比(%)	182.7	129.2	65.5	62.9	62.2	20.1	30.7	32.2
保証件数(件)	1,898	2,030	1,740	1,959	2,142	1,510	1,831	2,328
前年同月比(%)	58.6	32.9	23.8	19.7	19.3	0.4	9.2	3.9

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**1月 = 130.20円/ドル**

*前月差： 4.73円高

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 15.37円安

<概況>

1月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は130.20円で、前月と比べて4.73円の円高となり、3か月連続で円高となった。

<最近の動き>

	R 4年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	...円高 R 5年1月
平均相場(円)	133.86	136.63	135.24	143.14	147.01	142.44	134.93	130.20
前月差(円)	5.08	2.77	1.39	7.90	3.87	4.57	7.51	4.73
前年同月差(円)	23.75	26.34	25.40	32.97	33.91	28.31	21.06	15.37

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****1月 = 19件**

*前年同月比： 137.5%増

<概況>

1月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は19件（前年同月比 137.5%増）、負債総額は2,015百万円（同 12.0%増）と、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が14件と全体の73.7%を占め、6か月連続で50%以上となっている。

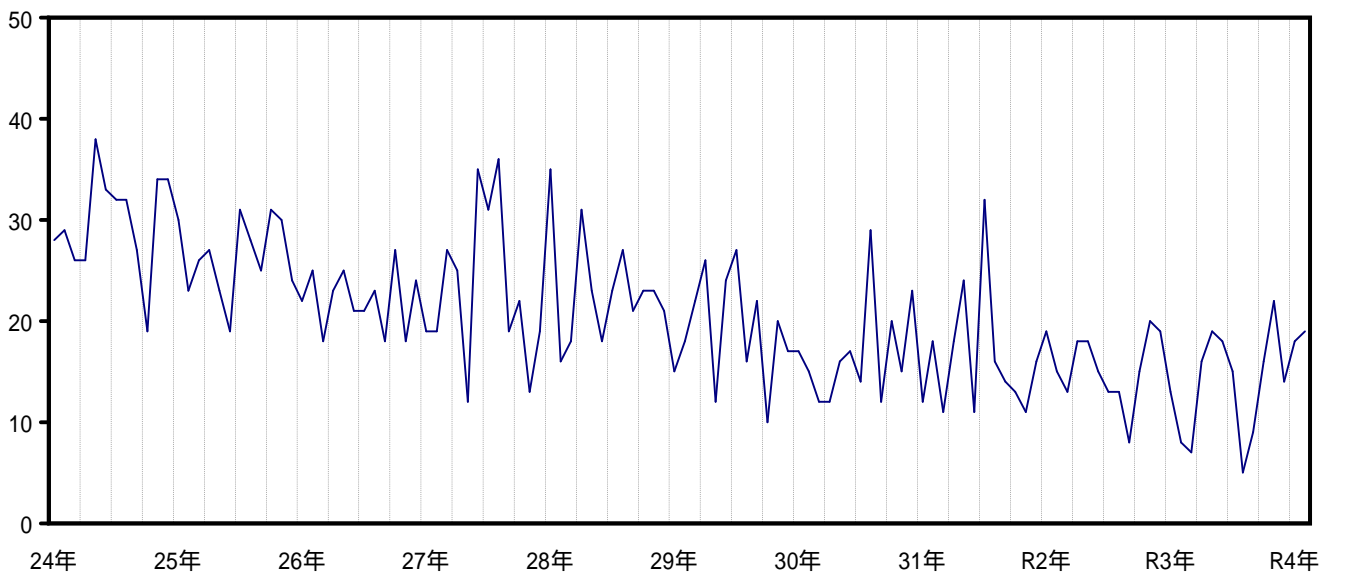
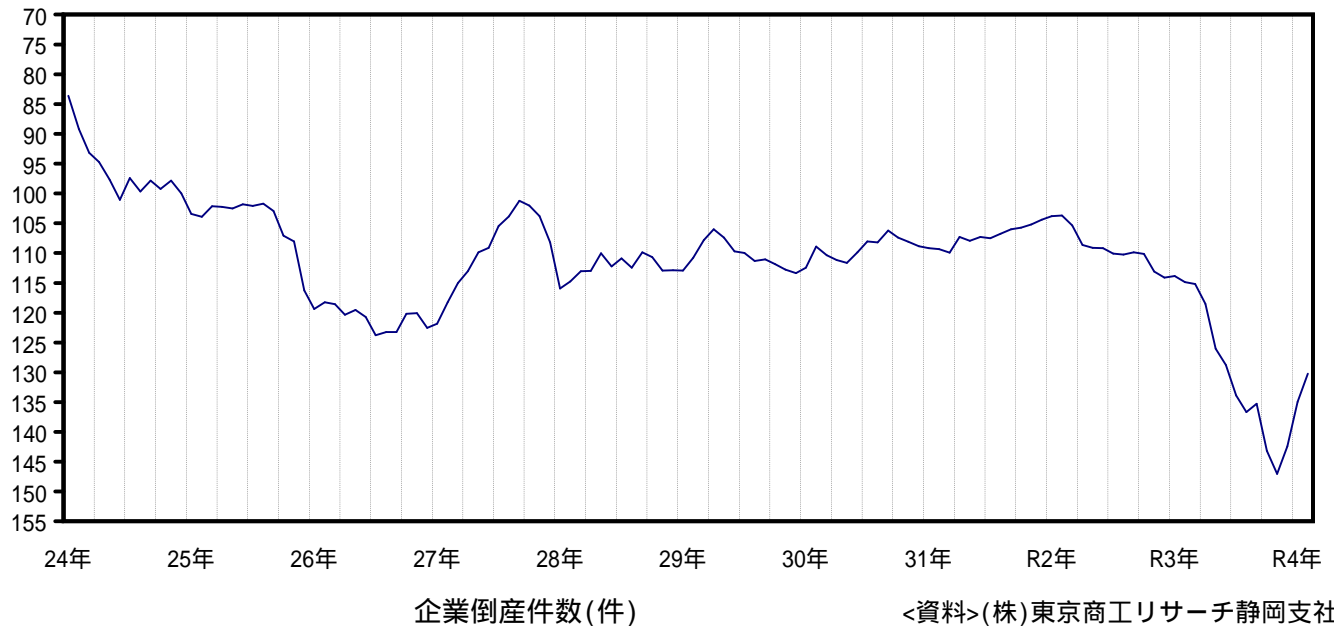
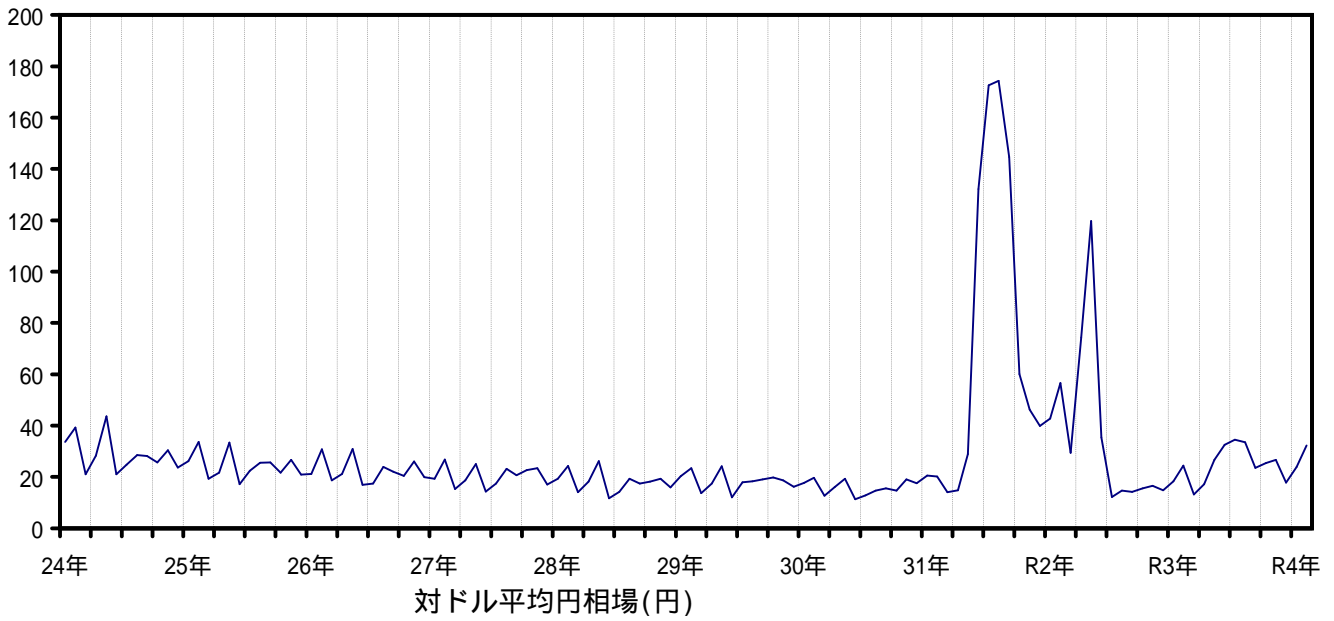
	R 4年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 5年1月
倒産件数(件)	15	5	9	16	22	14	18	19
前年同月比(%)	15.3	61.5	12.5	6.6	10.0	26.3	38.4	137.5
うち不況型倒産件数(件)	11	2	7	14	19	11	17	14
負債総額(百万円)	1,935	175	2,080	1,240	2,613	14,158	2,810	2,015
前年同月比(%)	25.3	86.1	149.1	19.5	88.4	1,088.7	119.8	12.0

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

< 過去10年間の推移 >

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



令和4年12月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>11月の国内二輪車生産台数は、71,479台（前年同月比 18.7%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、13,698台（同 5.4%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、4,354台（同 1.1%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、5,789台（同 25.4%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、47,638台（同 24.4%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、76,208台（同 143.8%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、49,316台（同 47.8%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>11月の自動車国内生産台数は、767,244台（前年同月比 1.4%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。輸出は371,870台（同 8.7%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、トラックが4か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>12月の冷蔵庫の国内出荷額は327億円（前年同月比 13.8%減）で、2か月連続で前年実績を下回り、国内出荷台数は249千台（同 18.8%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>12月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは550千台（同 0.8%減）で、6か月ぶりに前年実績を下回った。業務用は68千台（同 3.2%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>12月の携帯電話の国内出荷台数は、1,105千台（同 15.6%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、934千台（同 10.2%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は84.5%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>12月の工作機械の受注総額は、1,405億4,400万円（前年同月比 0.9%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は982億8,200万円（同 11.6%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。アジア向けが471億3,200万円（同 14.1%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。内需は422億6,200万円（同 17.4%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業や関連団体からは、「材料費等全体的に値上げされているが、売価について改訂してもらえるところと、もらえない厳しいところがあり、収益については減少傾向にある。」「複数の組合員において、未だに半導体絡みの一部部品に調達遅れが生じ、出荷できずに在庫負担が増大、売上計上できない状態を余儀なくされている。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

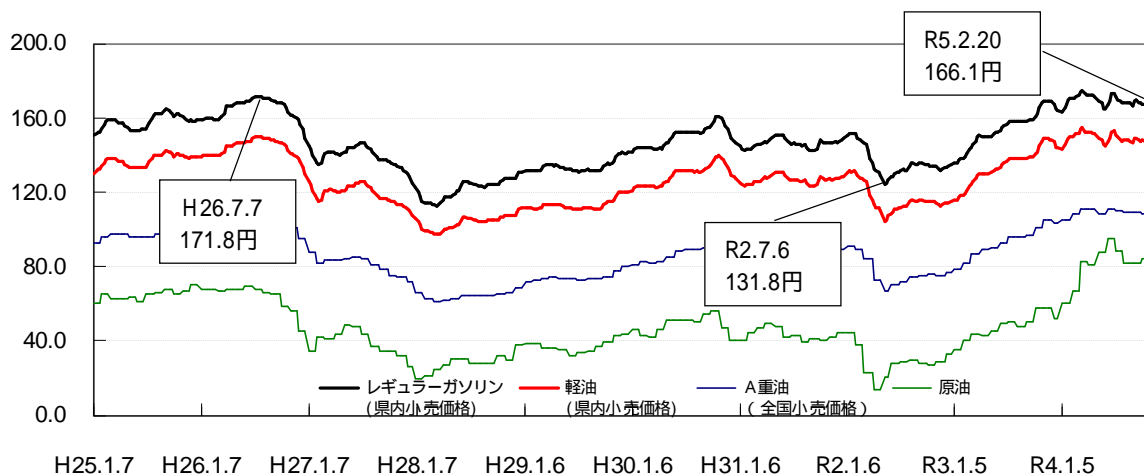
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>12月の県内楽器メーカーの販売金額は、61億3,918万円（前年同月比13.9%増）で、6か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが38億2,880万円（同28.9%増）で、国内向けが23億1,038万円（同4.5%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,347台（同3.0%増）であった。機種別では、アップライトピアノが2,254台（同1.3%増）、グランドピアノが1,093台（同6.8%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,369台（同8.1%減）、国内向けが1,144台（同3.8%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>12月の紙・板紙の国内出荷高は、1,850千トン（前年同月比3.8%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は894千トン（同5.5%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。板紙は956千トン（同2.1%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、464千トン（同6.2%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、165千トン（同1.7%減）と、5か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>12月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,010千箱（前年同月比14.8%増）と2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は719千箱（同15.9%増）と3か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は442千箱（同19.5%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は291千箱（同12.1%増）と2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,473千箱（同17.5%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>12月の広幅織物の県内生産は、746千㎡（前年同月比2.5%減）で、10か月ぶりに前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、706千㎡（同2.4%減）で、10か月ぶりに前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、40千㎡（同4.6%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、20千㎡（同37.1%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>12月の全国百貨店での家具販売額は、48億4,441万円（前年同月比6.2%減）と3か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、693億3,034万円（同2.9%増）と3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>12月の県内百貨店・スーパーの販売額は、46,593百万円（既存店前年同月比 2.6%増）と前年実績を上回った。品目別に見ると、身の回り品、家庭用品が前年実績を下回ったものの、衣料品、飲食料品が前年実績を上回った。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して来客数は減少したが、売上げは増加した。特に、クリスマス商戦やおせち料理の売上げが好調だった。また、天候も良く、クリスマスが週末にかかったことも売上げの増加に影響した。</p> <p>西部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して来客数は減少したが、売上げは前年並みだった。近年、福袋を年末から販売していたが、初売りからの販売に戻したため、年末の来客数がやや減少した。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げは減少したが、来客数は前年並みだった。特に、雑貨（化粧品、美術・宝飾・貴金属等）の売上げが前年同月と比べ落ち込んだ。一方、食料品を扱う催事の売上げは好調だった。</p> <p style="text-align: right;">資料 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和4年12月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約30万人で、前年同月比 3.8%減となった。</p> <p>本年の12月は、全国旅行支援の期間であったものの、クリスマス期間が寒波に見舞われたことにより、屋外の施設の入込が昨年と比較し減少していると考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線¹）の合計通行車両数は、約62万台となり、前年同月比 0.4%増となった。</p> <p>1 令和元年10月から（遠州大橋（新掛塚橋）が令和元年9月28日から無料化）。</p> <p style="text-align: right;"><資料> 静岡県観光政策課</p>

< 原油高の状況について >

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー166.1円/Lと、平成26年7月以来の高水準。



出典：石油情報センター

デ - タからみた県内主要産業

< 二輪車 >

	R 4年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完成車生産台数(台)	23,172	17,058	26,716	27,659	26,711	29,757	28,727	30,059	26,935
前年同月比(%)	2.7	2.4	16.9	22.4	28.2	72.3	71.7	10.9	4.4
KD輸出額(百万円)	1,931	1,132	890	988	906	1,207	1,632	1,633	1,573
前年同月比(%)	40.3	44.3	16.6	15.3	2.2	18.2	51.8	14.4	4.6

< 楽 器 >

	R 4年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生産総額(百万円)	3,126	2,667	3,177	3,207	2,582	3,256	3,304	3,276	3,236
前年同月比(%)	0.2	1.8	4.6	4.6	0.7	8.4	9.4	7.2	9.2

< 缶 詰 >

	R 4年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
食缶生産高(千ヶ-入)	1,053	936	1,089	1,010	981	960	1,029	1,022	1,010
前年同月比(%)	1.0	3.1	2.5	1.6	0.6	9.9	1.4	1.7	14.8
うち水産缶詰(%)	1.4	5.0	2.6	0.8	1.7	7.1	4.3	1.9	15.9
農畜産缶詰(%)	6.3	1.8	2.3	3.6	2.1	15.8	13.8	1.3	12.1
飲料缶生産高(千ヶ-入)	7,057	7,686	7,918	7,926	7,545	6,447	7,099	6,413	6,473
前年同月比(%)	13.9	2.3	5.9	3.0	2.0	15.0	22.3	3.5	17.5

< 織 維 >

	R 4年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
広幅織物(千㎡)	728	677	739	736	680	785	780	903	746
前年同月比(%)	3.5	2.3	8.2	10.8	17.5	21.2	13.8	11.0	2.5
小幅織物(千㎡)	17	17	17	15	14	15	16	17	20
前年同月比(%)	3.8	13.5	6.9	7.4	5.9	21.1	11.6	29.3	37.1

< 観 光 >

	R 4年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,377	1,465	1,202	1,693	2,387	1,522	1,484	1,703	1,723
前年同月比(%)	32.9	33.8	30.8	23.3	44.4	61.7	19.3	9.1	0.9
観光施設(10施設)入込 (千人)	416	528	248	273	461	319	427	389	298
前年同月比(%)	0.8	22.8	14.5	8.9	72.4	258.7	9.7	5.7	3.8
有料道路(4路線)通行 量(千台)	549	625	544	609	706	561	613	608	620
前年同月比(%)	4.5	11.9	9.8	0.4	15.6	12.4	7.5	0.1	0.4

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和5年2月号 通巻562号

発行 静岡県経済産業部
令和5年2月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9 - 6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/index.html>